

**kakaku.com**

2017年3月期決算説明資料

2017年5月10日

Kakaku.com, Inc.

# 目次

1. 通期決算
2. 四半期決算
3. 2018年3月期業績予想及び事業方針

# 1. 通期決算

## 2017年3月期通期 連結業績

- 食ベログ事業の成長が牽引し、売上高は前年対比9.2%の増加。

(単位：百万円)

	16/3期 (15年4-16年3月)	17/3期 (16年4-17年3月)	YoY	17/3期 通期会社計画	達成率 %
売上高	41,275	<b>45,089</b>	+9.2%	<b>45,000</b>	100.2%
営業利益	19,534	<b>21,161</b>	+8.3%	<b>21,000</b>	100.8%
経常利益	19,580	<b>21,164</b>	+8.1%	<b>21,000</b>	100.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	13,100	<b>14,838</b>	+13.3%	<b>14,500</b>	102.3%
営業利益率	47.3%	<b>46.9%</b>	-0.4pts	<b>46.6%</b>	-

## 2. 四半期決算

## 2017年4Q ハイライト

### 価格.com

サービス事業については引き続き好調に推移した一方、ショッピング・広告事業が低調のため、売上高は57億円と前期比-3.9%の減収。Priceprice.com（4カ国合算）2017年3月時点の月間利用者数は1,051万人。

### 食べログ

3月末の課金飲食店数は5.31万店を突破し、新プラン課金飲食店数も35百店に増加したことで、売上高は47億円と前期比+12.1%。ネット予約サービスが好調、4月には累計予約人数が1,500万人を突破。

### 新興メディア ファイナンス

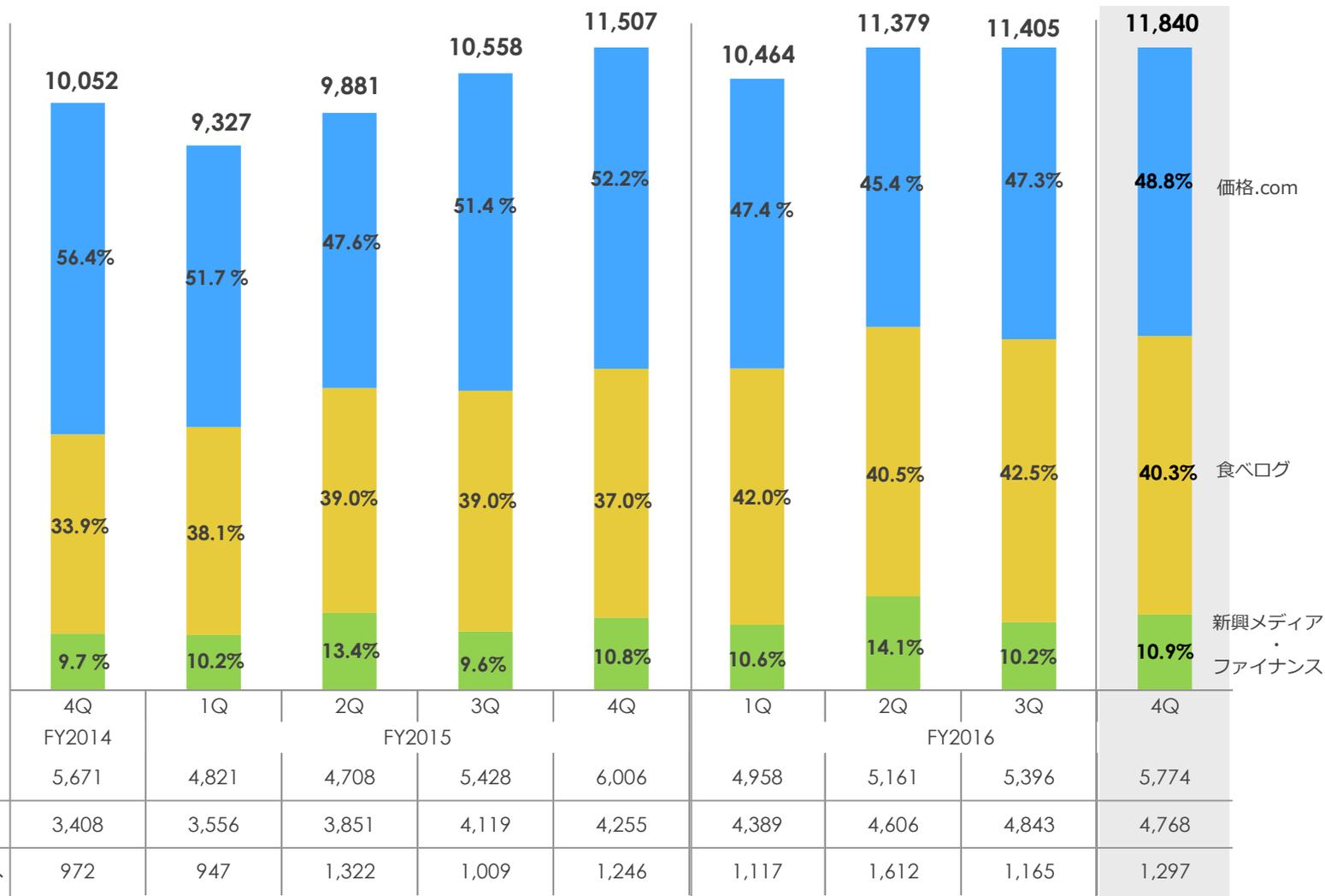
不動産住宅情報サイト『スマイティ』と女性向けライフスタイルメディア『キナリノ』が好調に推移し、売上高は12億円と前期比+4.1%の伸び。

## 2017年3月期第4四半期 連結業績

- 売上高は前年同期比で2.9%の増加。
- 技術開発への先行投資及び売上構成の変化により営業利益率は低下。 (単位：百万円)

	16/3期 4Q (16年1-3月)	17/3期 4Q (17年1-3月)	YoY
売上高	11,507	<b>11,840</b>	2.9%
営業利益	5,791	<b>5,654</b>	-2.4%
経常利益	5,770	<b>5,661</b>	-1.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,854	<b>4,027</b>	4.5%
営業利益率	50.3%	<b>47.8%</b>	-2.6pts

# 四半期別 業務別売上構成の推移（連結）



※セグメント間の内部売上高及び振替高を消去後の金額

# 四半期別 コスト内訳の推移 (連結)

※1：手数料=各種支払手数料と広告代理店手数料の合計

※2：従業員数は就業人員であり、臨時従業員数は( )内に各四半期ごとの平均人員を外数で記載している

単位：百万円



**2017年1-3月  
「その他」内訳**

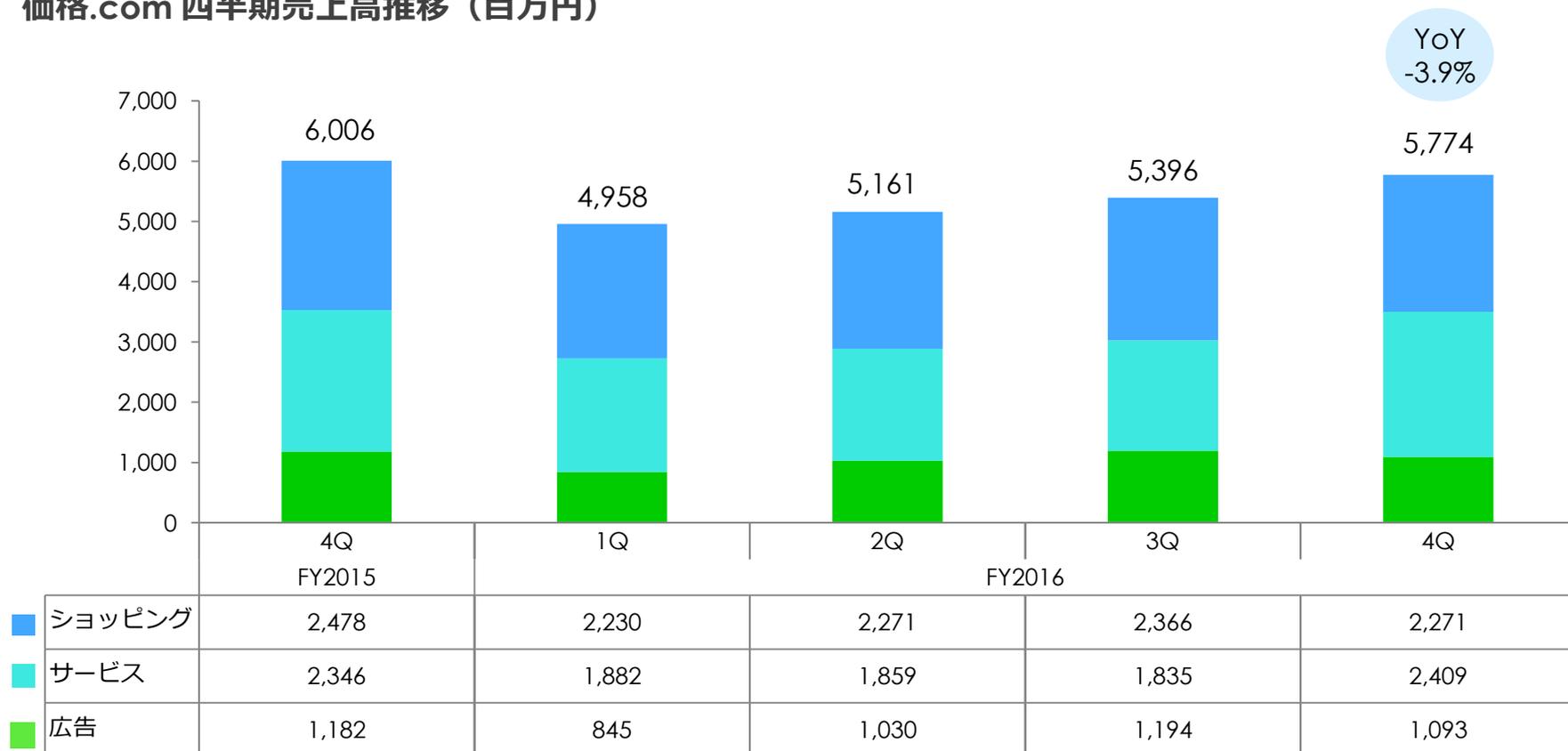
- サーバ保守費：65
- タイムデザイン仕入原価：293
- のれん償却：6
- 求人費：30

価格.com

## 価格.com事業

- サービス事業が引き続き好調に推移するも、価格.com事業全体の売上高は5,774百万円と前年比-3.9%の減少。
- 国内の価格.com月間利用者数は5,275万。（2017年3月）

### 価格.com 四半期売上高推移（百万円）



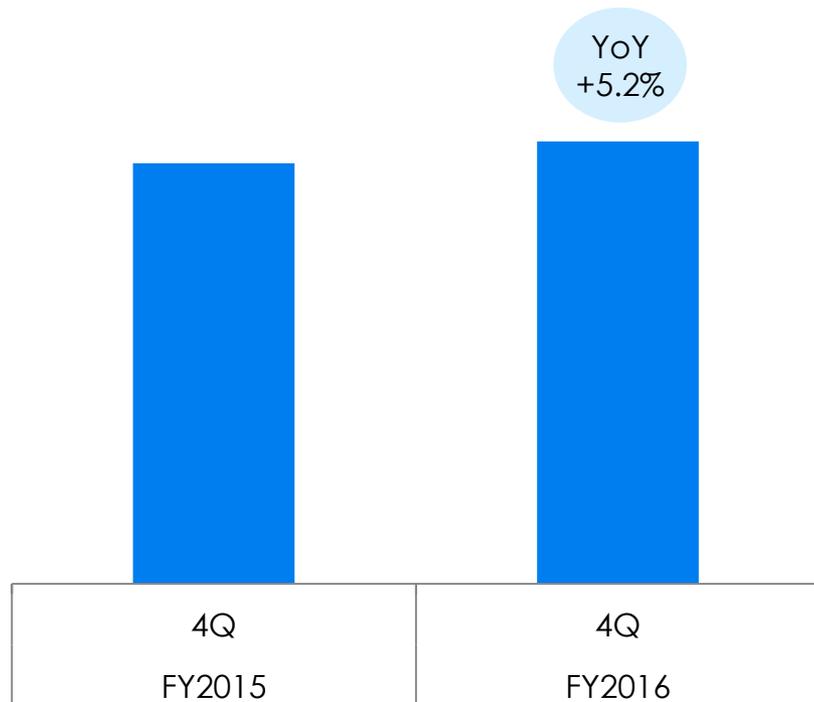
※ 月間利用者数とは、サイトを訪れた人をブラウザベースで数えた人数であり、1ヶ月の間に複数回訪問した人も1人と数えた場合の正味の人数です。  
 ※ 2016年11月より、モバイル端末のウェブページ多様化に伴い計測ロジックを変更しております。

# 価格.comショッピング事業・広告事業

- デジタルコンシューマー機器市場の不振でショッピング・広告事業が減収。
- 購入利便性を高めるUI改善により、流通総額が成長。

## 消費財 流通総額成長率 (%)

- ・ 2017年3月に消費財の全カテゴリの改修が完了。
- ・ UI改善により流通総額は前年同期比+5.2%で成長。



## ヘッダービディングの導入

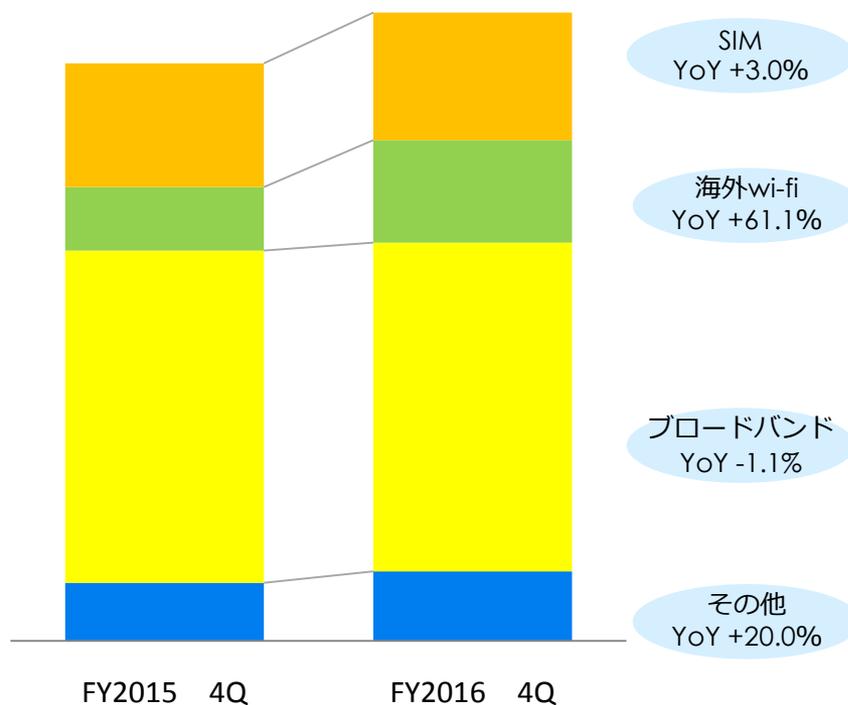
- ・ 全ての広告主に向けて公平な仕組みで広告在庫を提供。
- ・ 複数の事業者が瞬時に入札できるようになったため広告の配信単価が上昇。



# 価格.comサービス事業

- 通信事業におけるSIM販売と海外Wi-Fiの好調により増収。
- 訪日旅行者向けのWi-Fiレンタルの英語版・中国語版のコンテンツをリリース。

## 通信カテゴリ 成長率 (%)



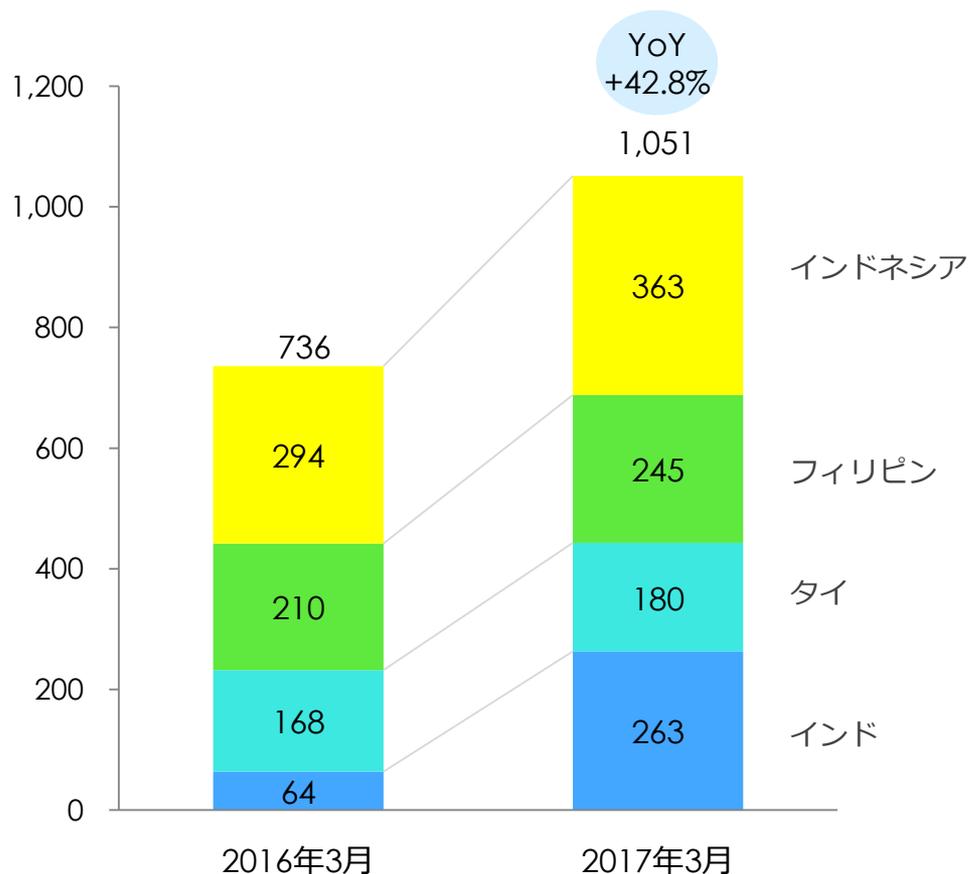
## 訪日旅行者向けのwi-fiレンタルの英語版/中国語版コンテンツ



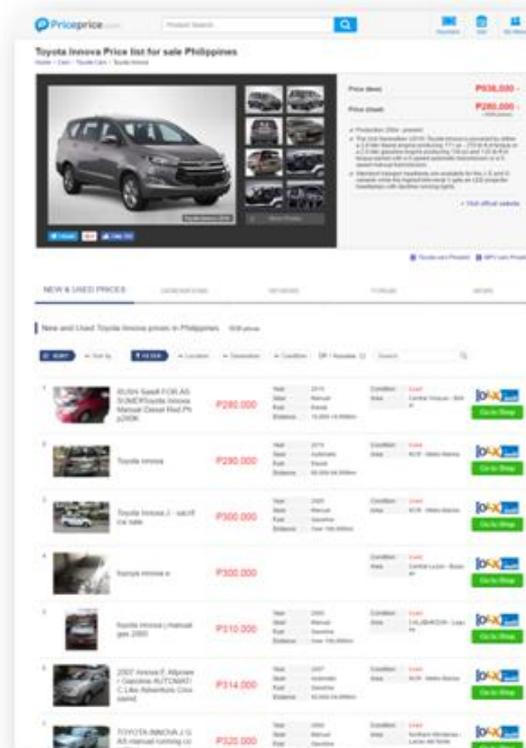
## 価格.com海外事業

- 4カ国合算利用者数は前年同月比42.8%増の1,051万人。（2017年3月）
- 車カテゴリの改善を実施し、スペックをより詳細に分かるよう変更。

### 4カ国合算 月間利用者数（万人）



### 車カテゴリの車種ページ



※月間利用者数とは、サイトを訪れた人をブラウザベースで数えた人数であり、1ヶ月の間に複数回訪問した人も1人と数えた場合の正味の数です。

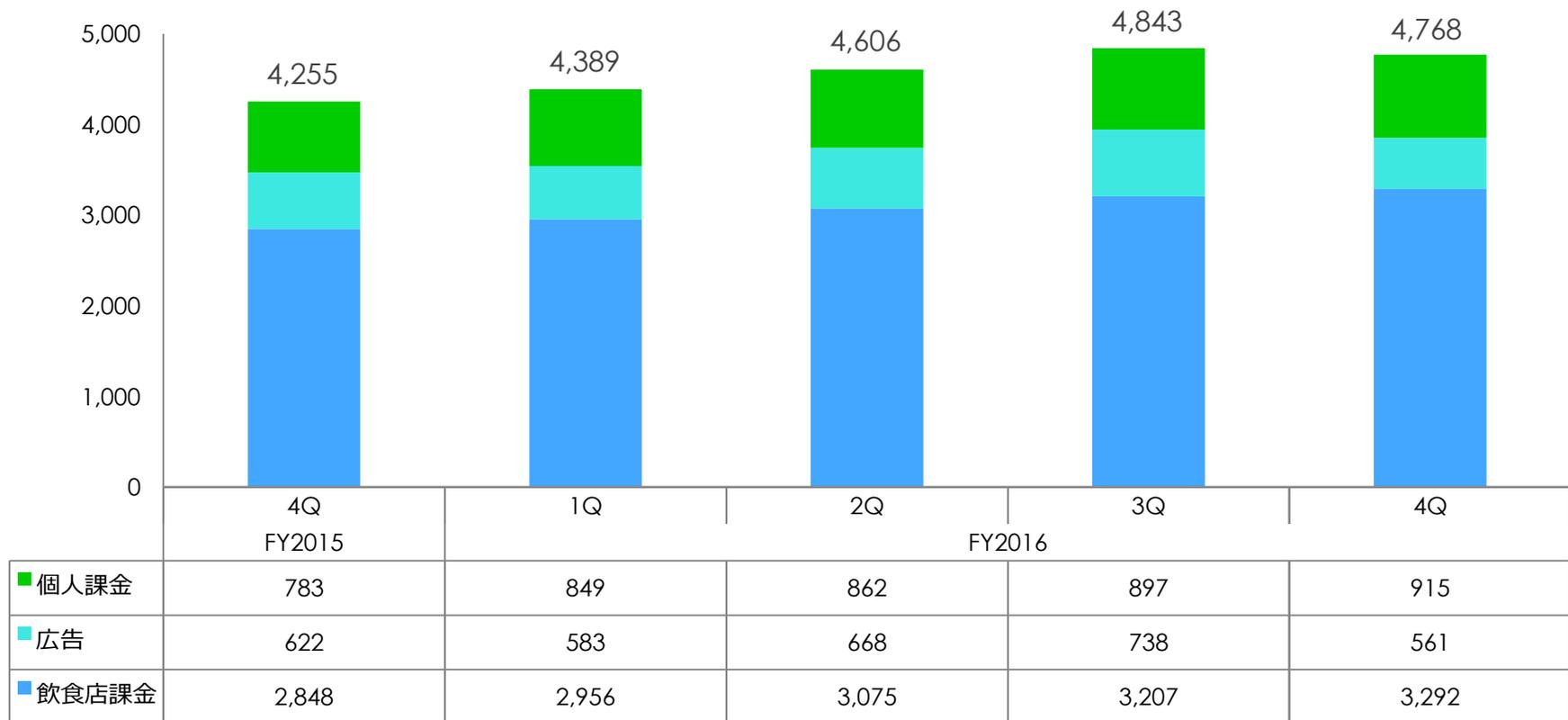
# 食べログ

# 食べログ事業

- 広告の減収が影響し、売上高は前四半期比で減収となるも、前年比では12.1%の増加。
- 国内の食べログ月間利用者数は10,429万。（2017年3月）
- ネット予約サービスが好調、2017年4月に累計予約人数が1,500万人を突破。

## 食べログ 四半期売上高（百万円）

YoY  
+12.1%



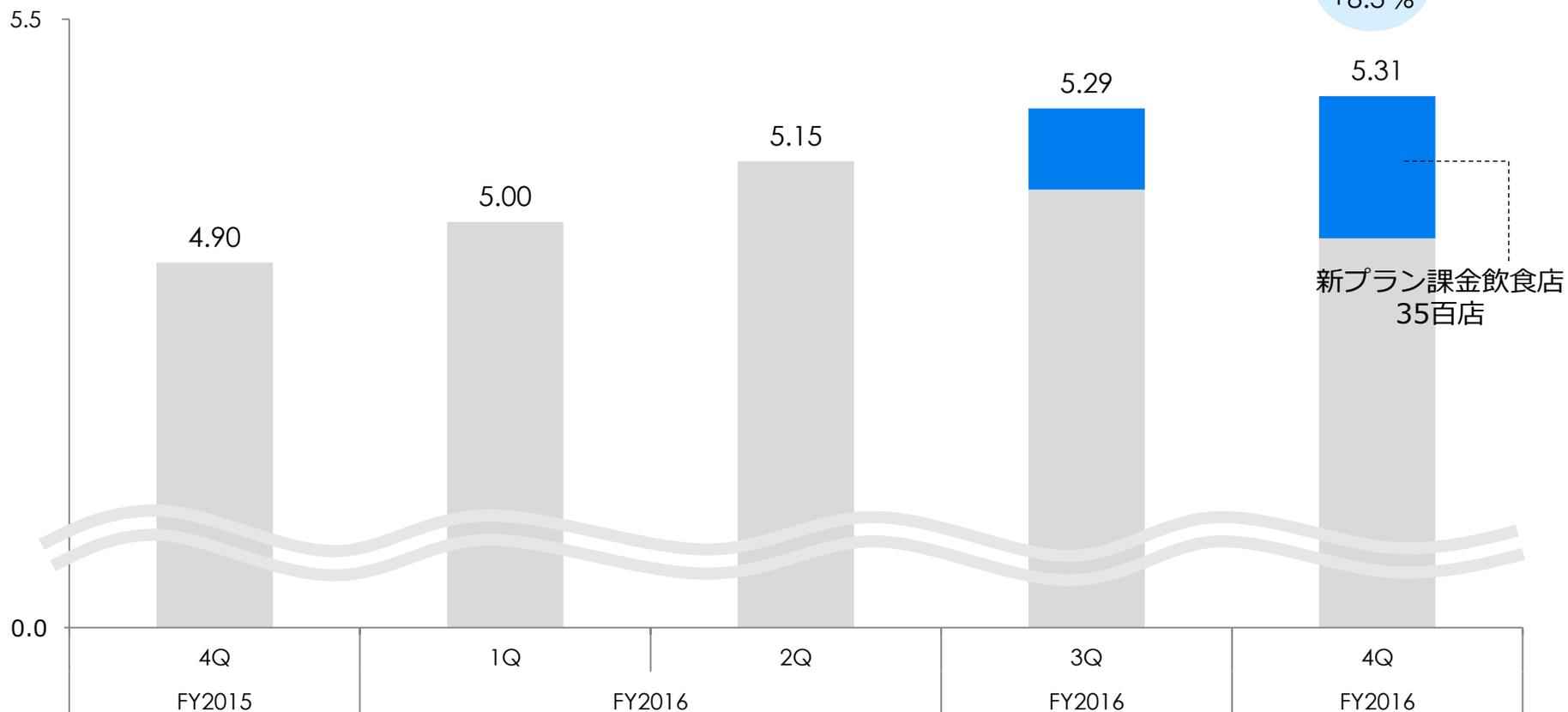
※ 月間利用者数とは、サイトを訪れた人をブラウザベースで数えた人数であり、1ヶ月の間に複数回訪問した人も1人と数えた場合の正味の人数です。  
※ 2016年11月より、モバイル端末のウェブページ多様化に伴い計測ロジックを変更しております。

## 食べログ課金飲食店数の進捗

- 課金飲食店数は5.31万店と前年同月比8.3%の増加。(2017年3月)
- 新プラン課金飲食店数は35百店へ増加。(2017年3月)

### 課金飲食店数および新プラン課金飲食店数

(単位：万店)



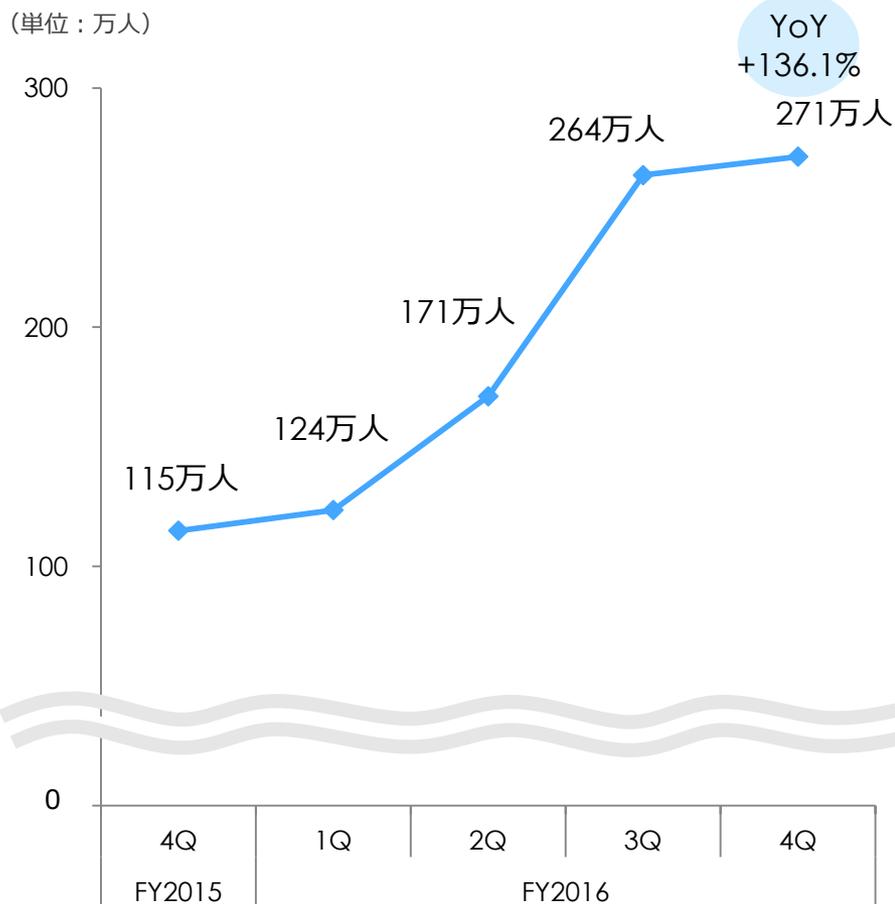
※飲食店向け集客サービスでは2016年10月より東京エリアのみオンライン予約販促を強化した新商品プランを導入しております。

# 食べログオンライン予約の進捗

- オンライン予約人数が271万人と前年比+136.1%で好調に進捗。
- ARPUも上昇し20.7千円となった。

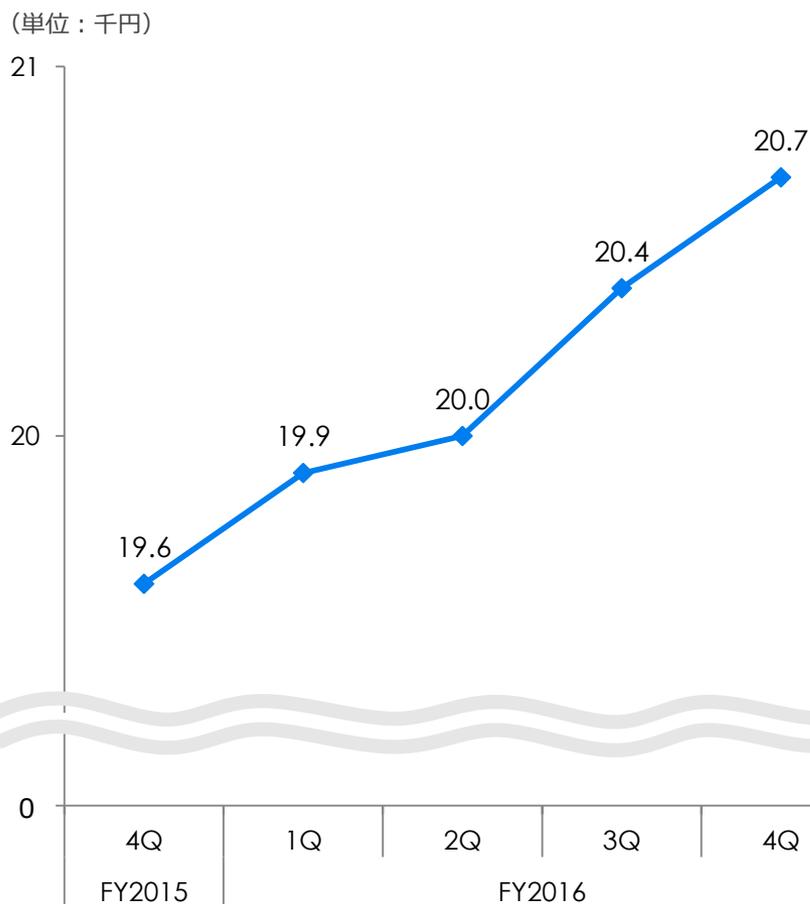
## オンライン予約人数

(単位：万人)



## 四半期平均ARPU

(単位：千円)



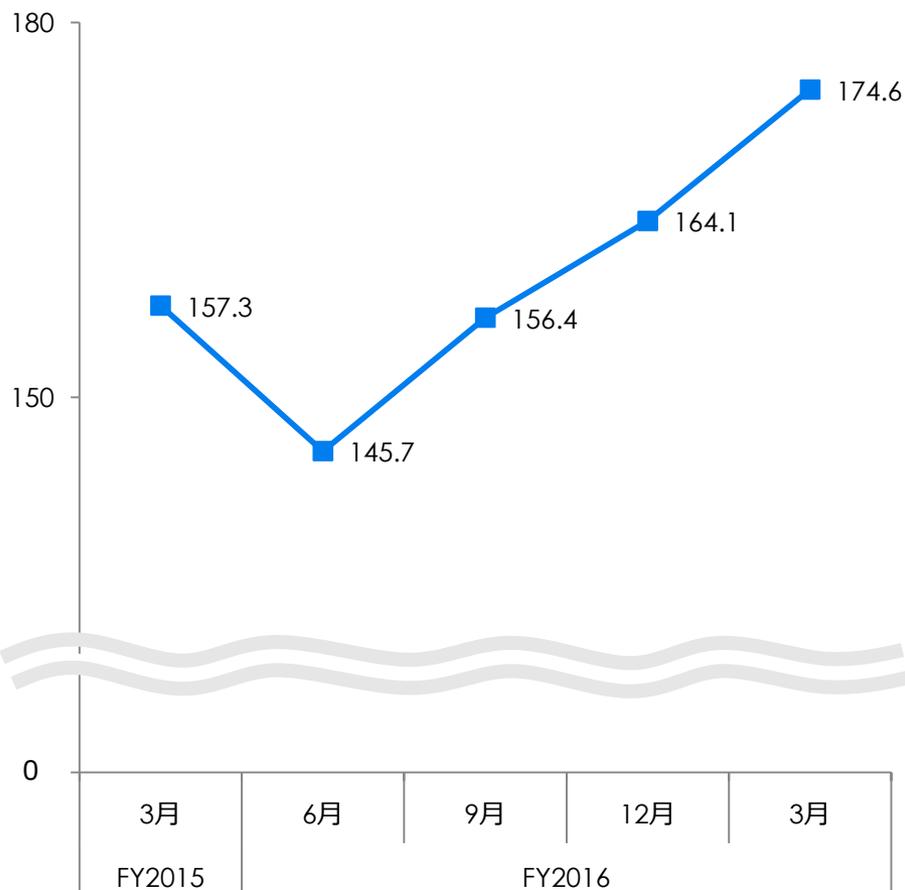
※平成29年3月期第三四半期までの決算説明資料では、四半期最終月のARPUを表示しておりましたが、当期より四半期平均ARPU開示に変更しております。

## 食べログ その他取り組み

- 個人向け有料サービス加入者数は2017年3月に174.6万人を突破。
- オンラインと飲食店店頭を絡めた広告商品を幅広い業種と実施。

### 個人向け有料サービス加入者数

(単位：万人)



### 飲食店を絡めた広告展開

オンラインのプロモーション

タイアップ広告

オフラインのプロモーション

店頭POP など



飲食店内でも  
キャンペーン告知

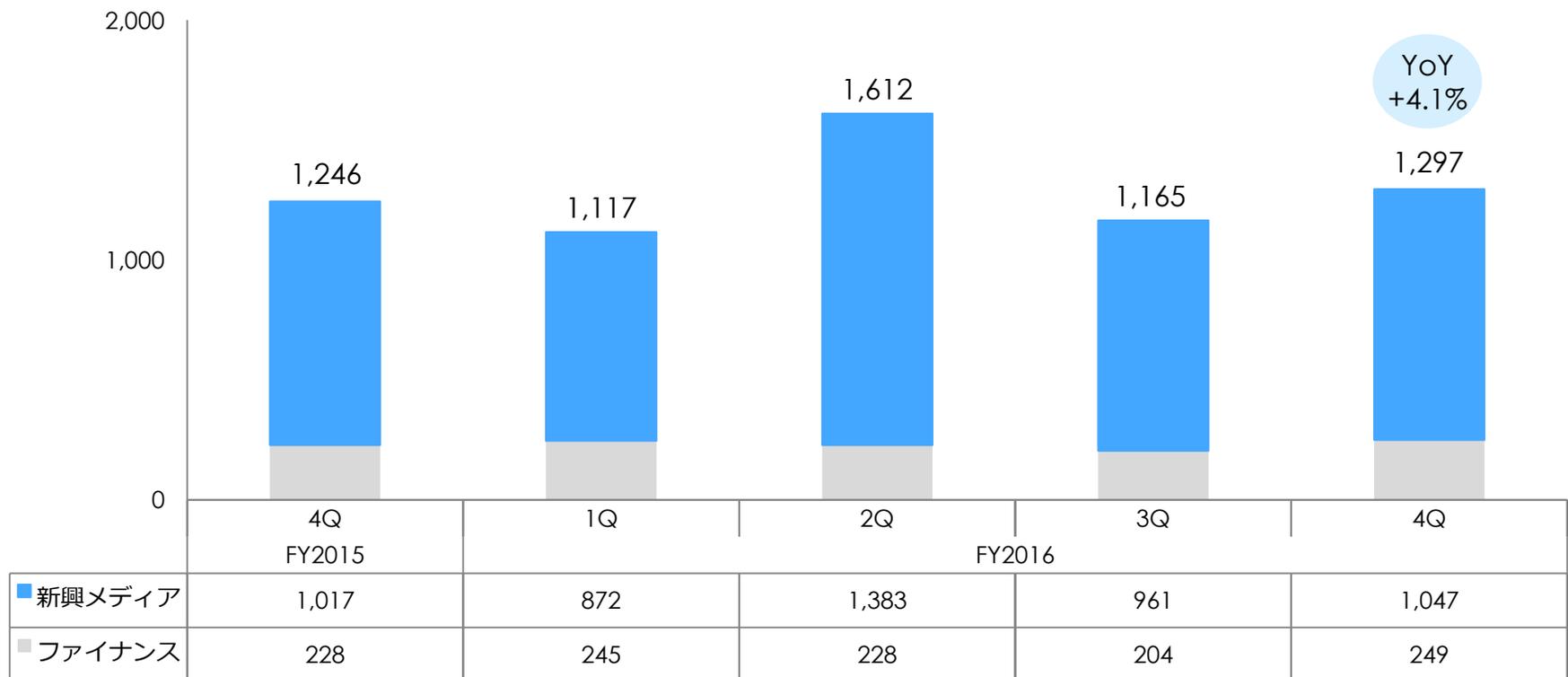


# 新興メディア・ファイナンス

## 新興メディア・ファイナンス事業

- 『スマイティ』と『キナリノ』が好調に推移。また、ファイナンス事業も増収となり、新興メディアとファイナンス事業を合わせた売上高は1,297百万円と前年比4.1%の増収。

### 四半期売上高（百万円）



※旅行事業のタイムデザインは通期のうち旅行シーズンの2Qが最も売上高が高く、売上構成比の関係で新興メディアの売上高も2Qが高い傾向となっています。

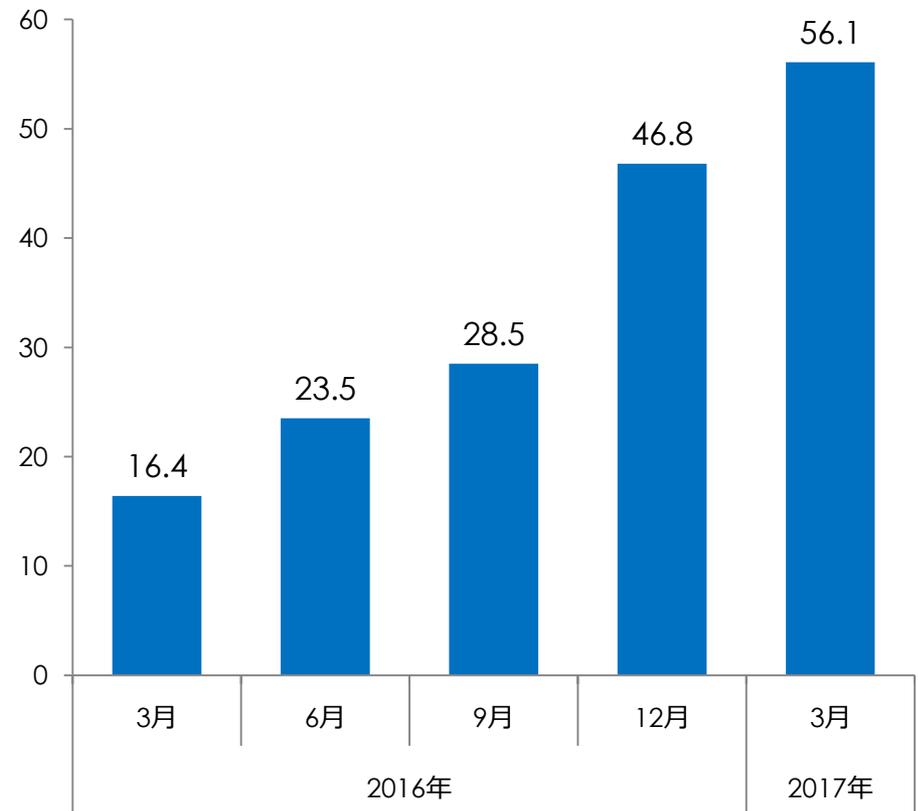
## 新興メディア事業《キナリノ》

- アプリを4月にリリース。記事やキナリノモールに加えて新コンテンツを拡充予定。
- キナリノモールの月間流通額は56百万円を突破。（2017年3月）

### 「キナリノ」アプリをリリース



### キナリノモール 月間流通額（百万円）



※2016年2月よりキナリノモールのサービスをリリース。

# 新興メディア事業《タイムデザイン》・ファイナンス事業

- タイムデザインは提携先事業者を拡大。
- カカクコム・インシュアランスが食べログの飲食店向けに団体保険の販売を開始。

## 《タイムデザイン》提携先事業者の拡大

- ・クレジットカード会社に国内ダイナミックパッケージ優待サービス及び海外航空券優待サービスのプラットフォームの提供を行うなど、取引先業種を拡大している。

### ■ 既存取引先



国内外ホテル事業者

### ■ 新規取引先



2016年6月  
企業の福利厚生サービス運営事業者



2016年10月  
移動交通系サイト運営事業者



2017年2月  
クレジットカードブランド事業者

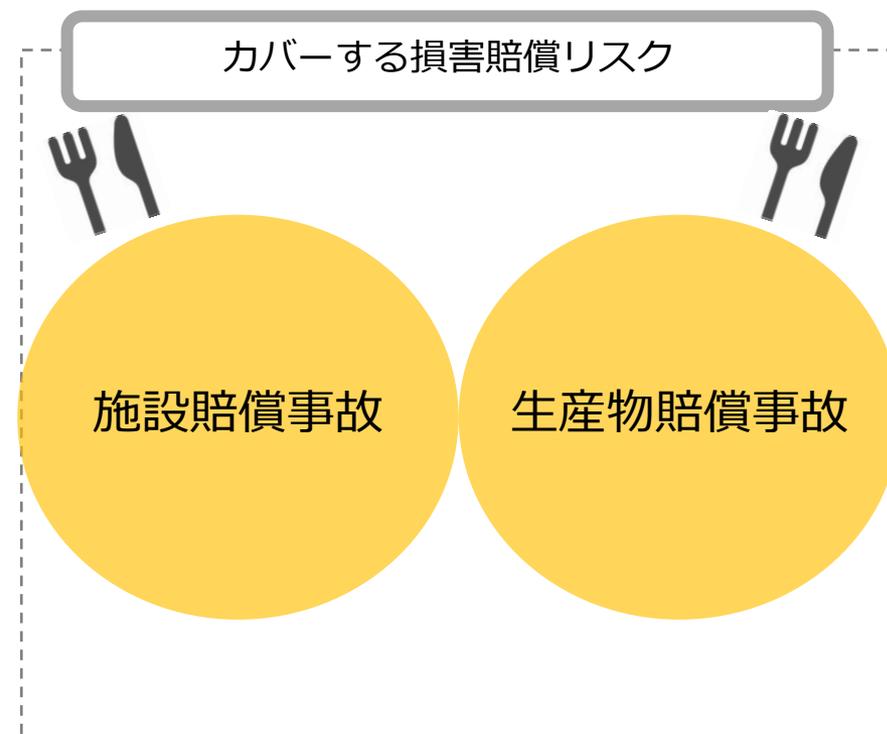


2017年3月  
旅行サイト運営事業者

など

## 《ファイナンス》飲食店向けに団体保険の販売を開始

- ・食べログの取引先飲食店向けに団体保険の販売を開始。店舗会員限定の保険商品となっており、割安な保険料で提供。

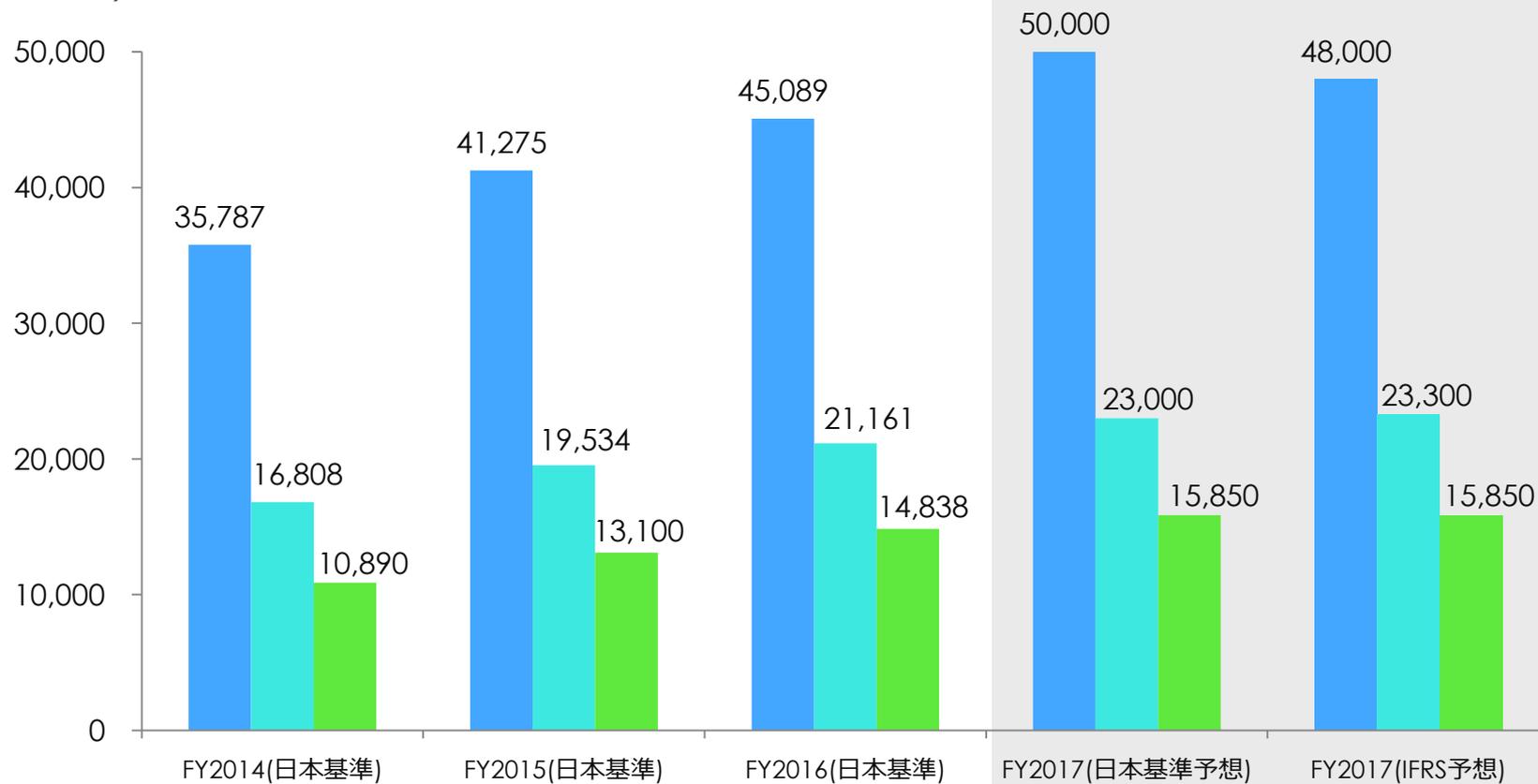


### 3. 2018年3月期業績予想及び事業方針

# 2018年3月期業績予想

- 2018年3月期第一四半期より国際会計基準（IFRS）を任意適用する予定。
- 配当性向42～43%程度を目安とする。

(単位：百万円)



■ 売上高 ■ 営業利益 ■ 親会社株主に帰属する当期純利益

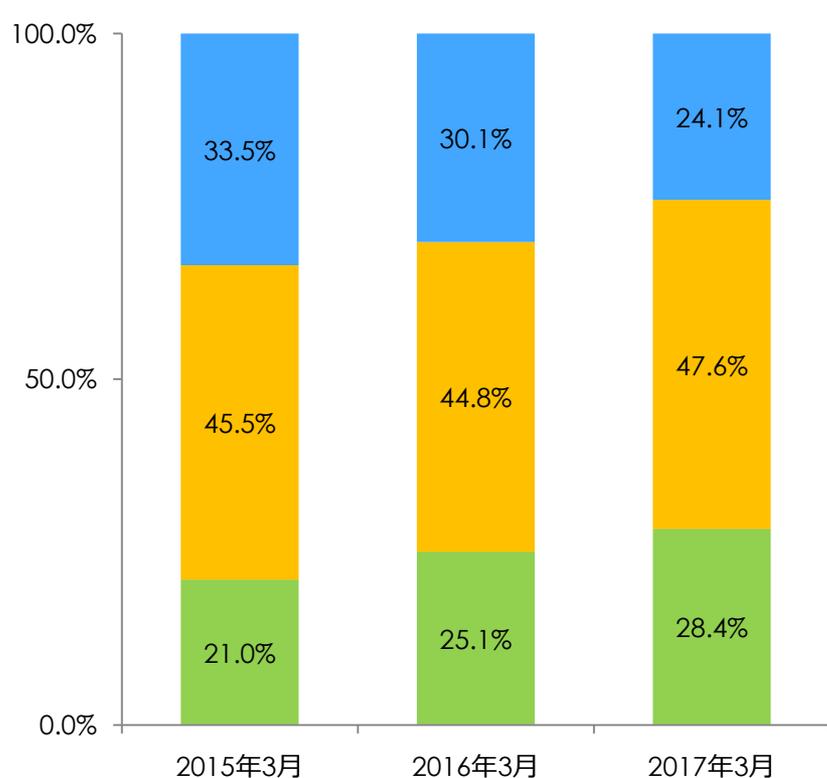
※ FY2017日本基準予想は参考値です。

※ FY2017日本基準予想とIFRS予想の主な差異は、IFRSにおけるタイムデザインの上の純額処理、及びのれんの償却費の取消し並びに法人事業税付加価値割の計上区分の変更によるものです。

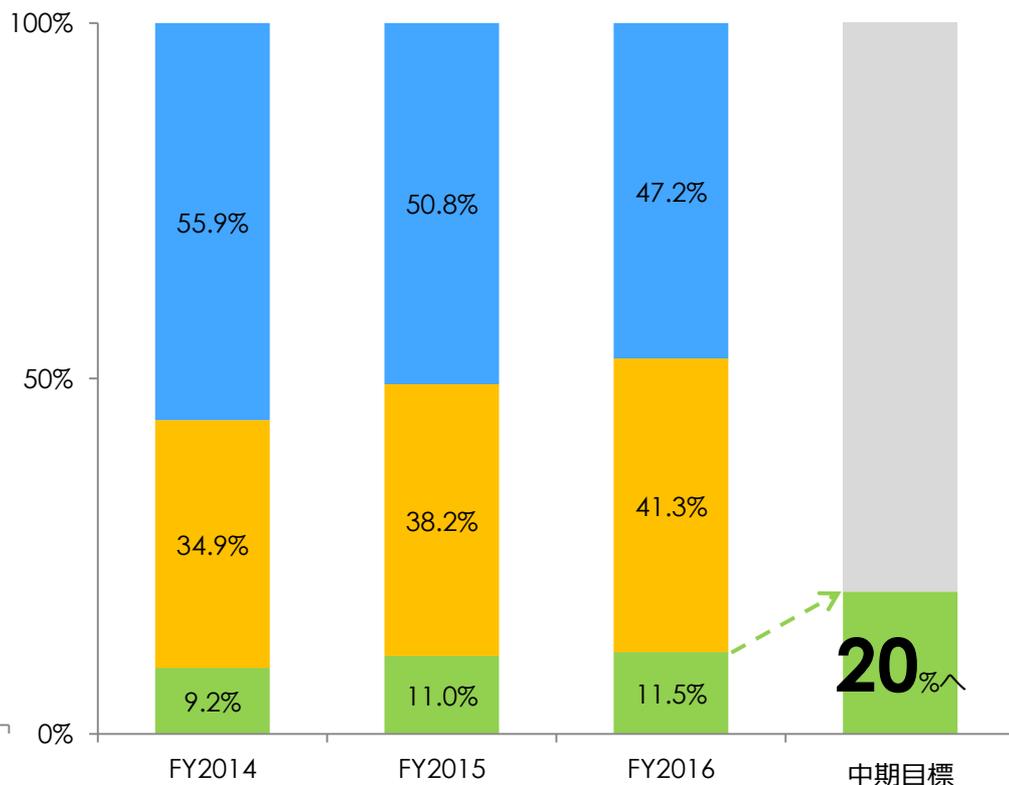
# カカコムグループ今後の事業方針

- 価格.com、食べログにおいて引き続き堅調な成長を継続するとともに、新興メディア・ファイナンス事業の売上構成比を中期的に20%へ。

## サイト別 月間利用者比率 (%)



## サイト別 売上比率 (%)



■ 新興メディア・ファイナンス ■ 食べログ ■ 価格.com

※月間利用者数とは、サイトを訪れた人をブラウザベースで数えた人数であり、1ヶ月の間に複数回訪問した人も1人と数えた場合の正味の人数です。

# 価格.comの取り組み

- ユーザーの興味理解を促進するため記事メディアを強化。
- 価格.comでの比較検討を経て、さらなる買いやすさ・申し込みやすさを追求。

## 興味・理解



## 比較



## 購入



## 申込

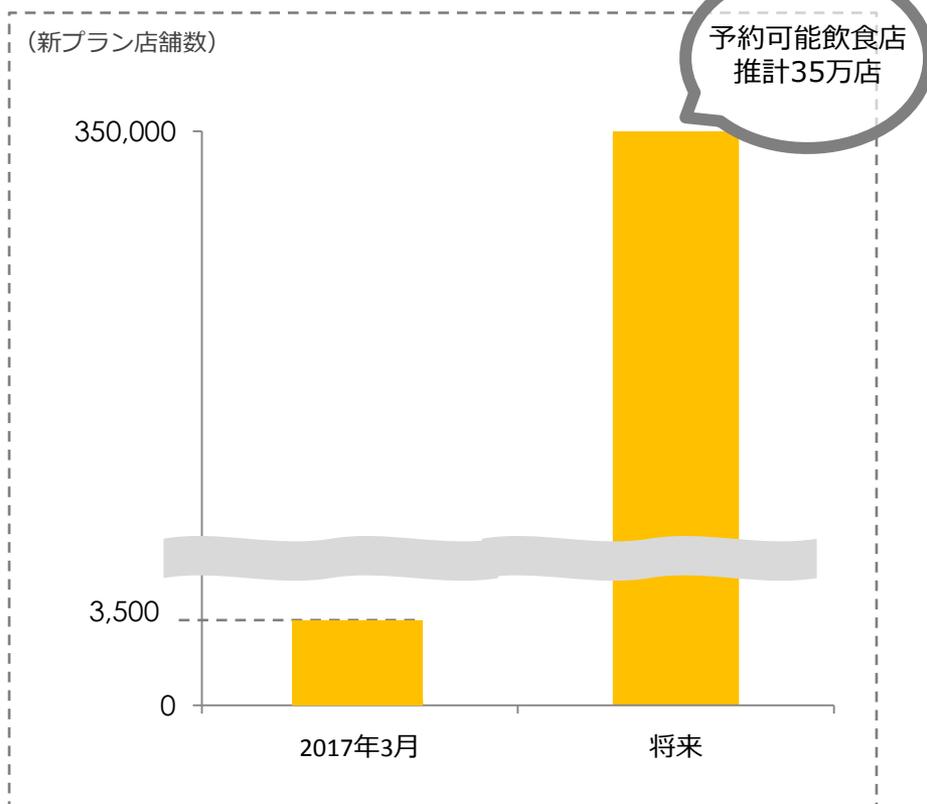
# 食べログの取り組み

- ユーザーの多様なお店選びのニーズにこたえ、簡単にオンライン予約ができるコンテンツ作りと営業強化を行っていく。

様々な利用シーンや目的に応じて  
最適な店を見つけられるコンテンツづくり



全国のお店をスマホで簡単に予約できるよう  
営業を全国に展開

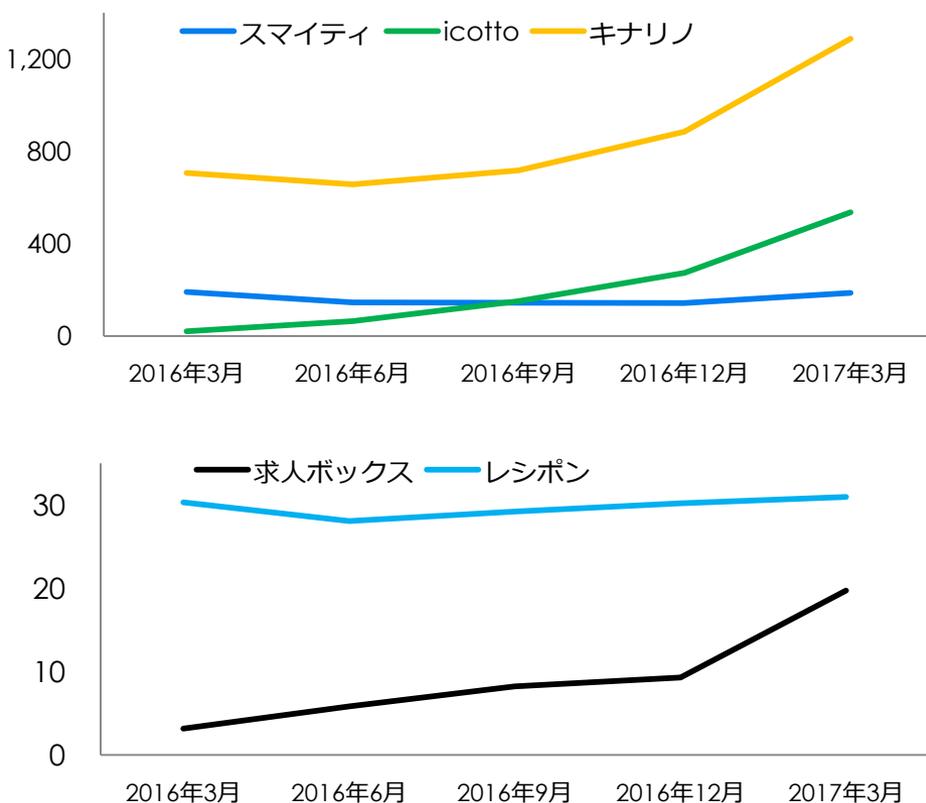


# 主な新興メディア・ファイナンスの取り組み

- 各事業でコンテンツの強化、商品の拡充を図り、収益基盤の強化を目指す。

## サイト別月間利用者数

(単位：万UU)



## 中長期的な取り組み

### キナリノ

メディア×EC混在型アプリを確立



業界最高精度の建物情報DBを構築

### Time Design

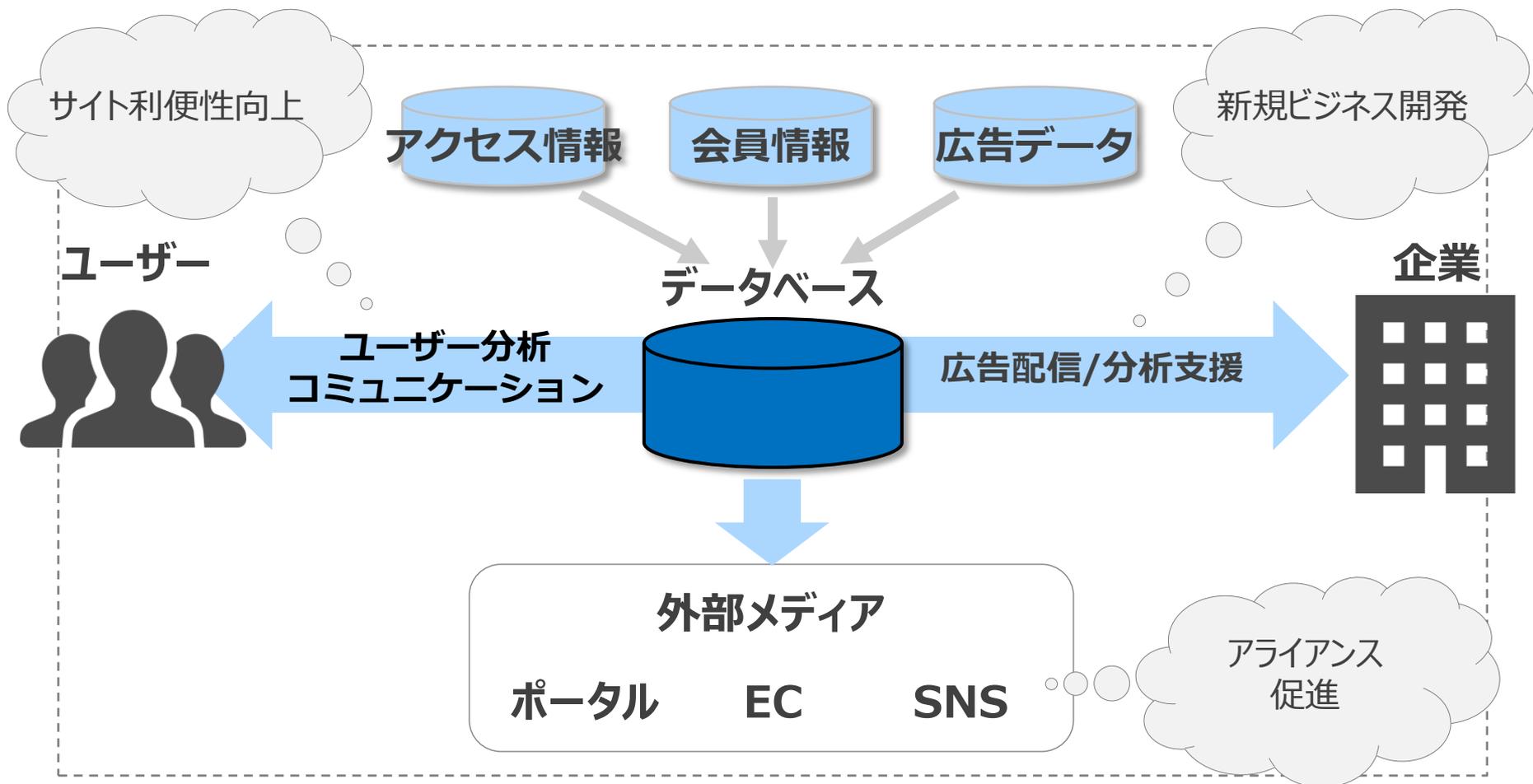
アウトバウンド・インバウンド・第三カ国間の  
旅行ニーズの取り込み



保有データを活用した既存顧客への  
アプローチの強化

# カカクコムグループデータ活用の取り組み

- カカクコムグループの各メディアが保有する行動ログやアクセス解析ログを含めた統合データベースを作成し、ユーザーと企業に価値を提供する。



## 海外事業の取り組み

- グループ事業戦略本部を新設、アジア地域を中心とした海外展開を目指す。
- 事業ノウハウを最大限活かし、アジア最大の**“地域密着型のバーチカルメディア群”**を形成。

対象エリアは、**アジア地域**を想定。

Pricepriceを含む  
事業ノウハウの共有や人材交流を図る。



# 財務戦略

- 株主利益を重視し、高い資本効率を維持しながら中長期的な安定成長を目指す。

## 経営指標

- ・ ROE40%を目安とする

## 利益成長の考え方

- ・ 成長分野の利益貢献を高め、連結営業利益率40%台を維持

## 経営資源配分の考え方

### 成長投資

- ・ 成長分野への人的資源を中心とする成長投資を継続
- ・ AIを中心とする先端技術を取り入れるための提携、人的資源への投資
- ・ オーガニックな成長を基本としつつ、戦略遂行上の必要性に応じてM&Aも検討

### 株主還元

- ・ 半年分のキャッシュフローが確保できる水準を必要運転資金の目安とし過剰な内部留保は株主へ還元
- ・ 還元手段は、継続的な年2回の配当及び、必要に応じた自己株取得を実施

# 参考資料

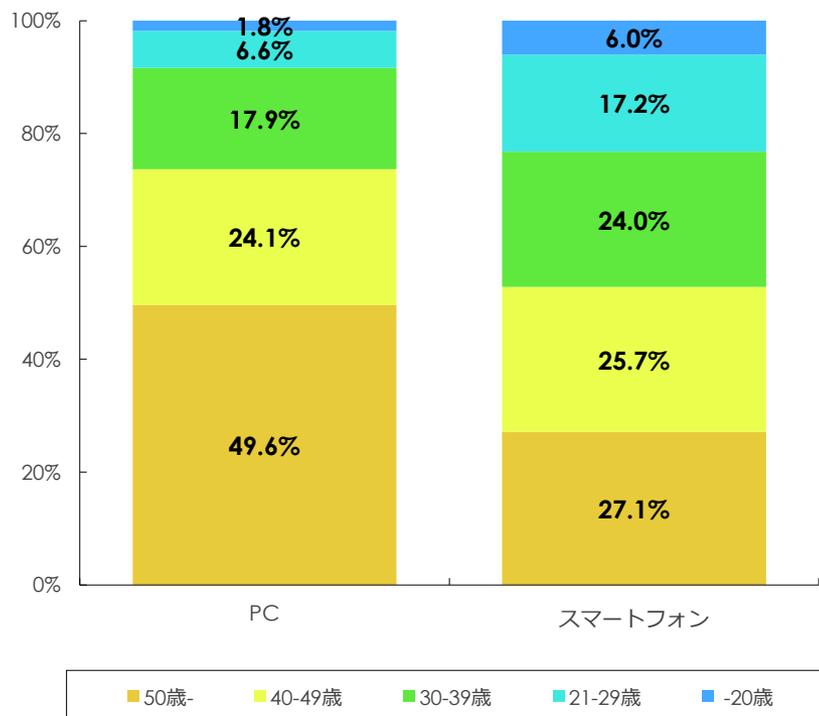
# セグメントと業務の内容

セグメント	サイト区分	業務区分	業務の内容
インターネットメディア	価格.com	ショッピング	クリック数や販売実績に応じた掲載店舗からの手数料収入
		サービス	通信回線の契約等に応じた手数料収入 自動車保険、金融、中古車検索等の見積もり/資料請求等に応じた手数料収入
		広告	『価格.com』を媒体とするバナー、テキスト広告、コンテンツ・検索連動広告等の広告収入
	食べログ	飲食店課金	レストラン向け課金収入
		個人課金	個人向け課金収入
		広告	『食べログ』を媒体とするバナー、テキスト広告、コンテンツ・検索連動広告等の広告収入
	その他	新興メディア	『yoyaQ.com』・『フォートラベル』・『スマイティ』・『タイムデザイン』・『映画.com』・『webCG』・『キナリノ』等の運営サイトによる収入
ファイナンス		ファイナンス	生命保険、損害保険等の保険総合乗合代理店業務による手数料収入

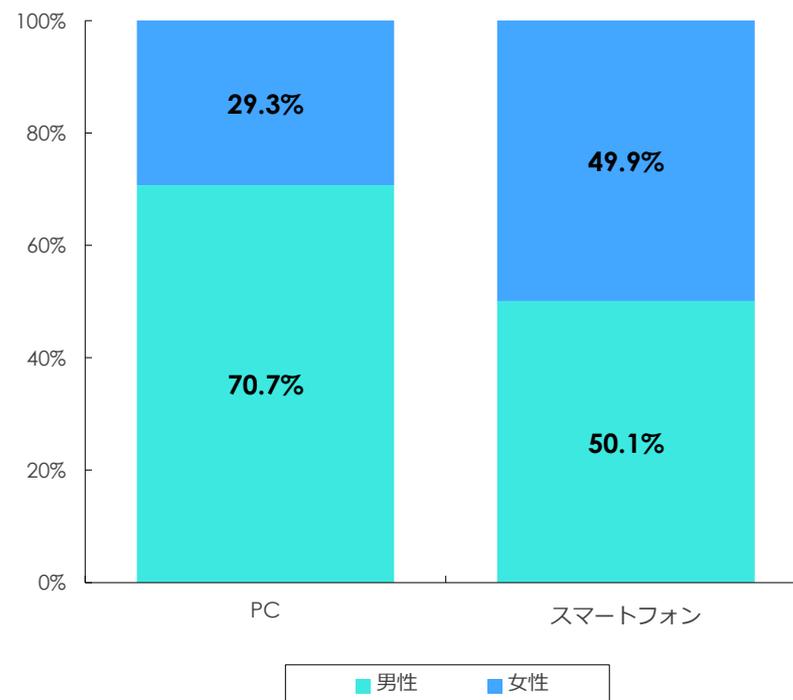
# 運営サイトの利用者属性

- 30代以上の利用者がPCでは9割、スマートフォンでは7割となっている
- PCでは男性利用者割合が高い一方、スマートフォンでは男女比が半々近くとなっている

## 年齢構成

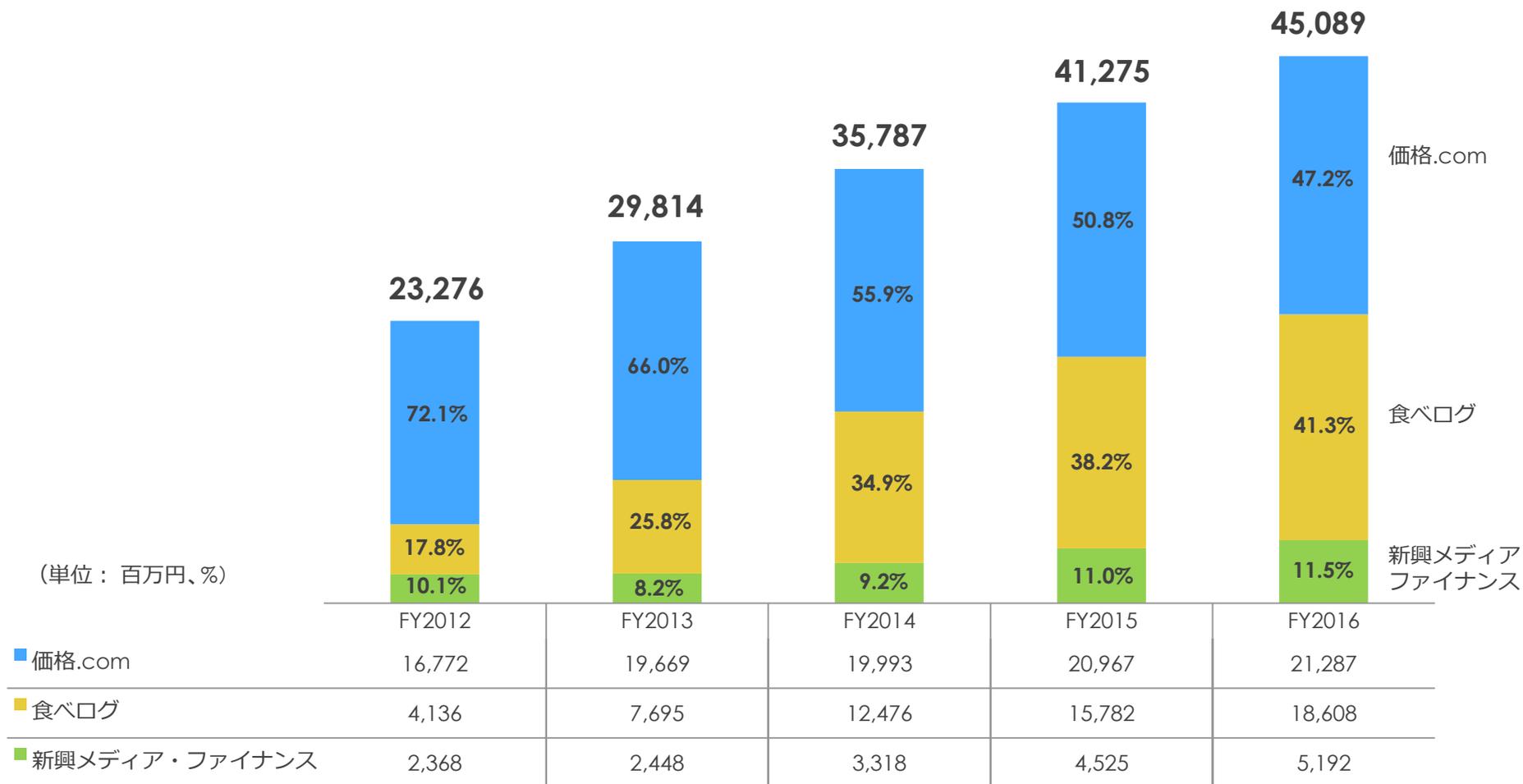


## 男女比



年齢構成及び男女比： Nielsen Online 2017年3月調査(Home& Workデータ、ブランドレベル) より抜粋

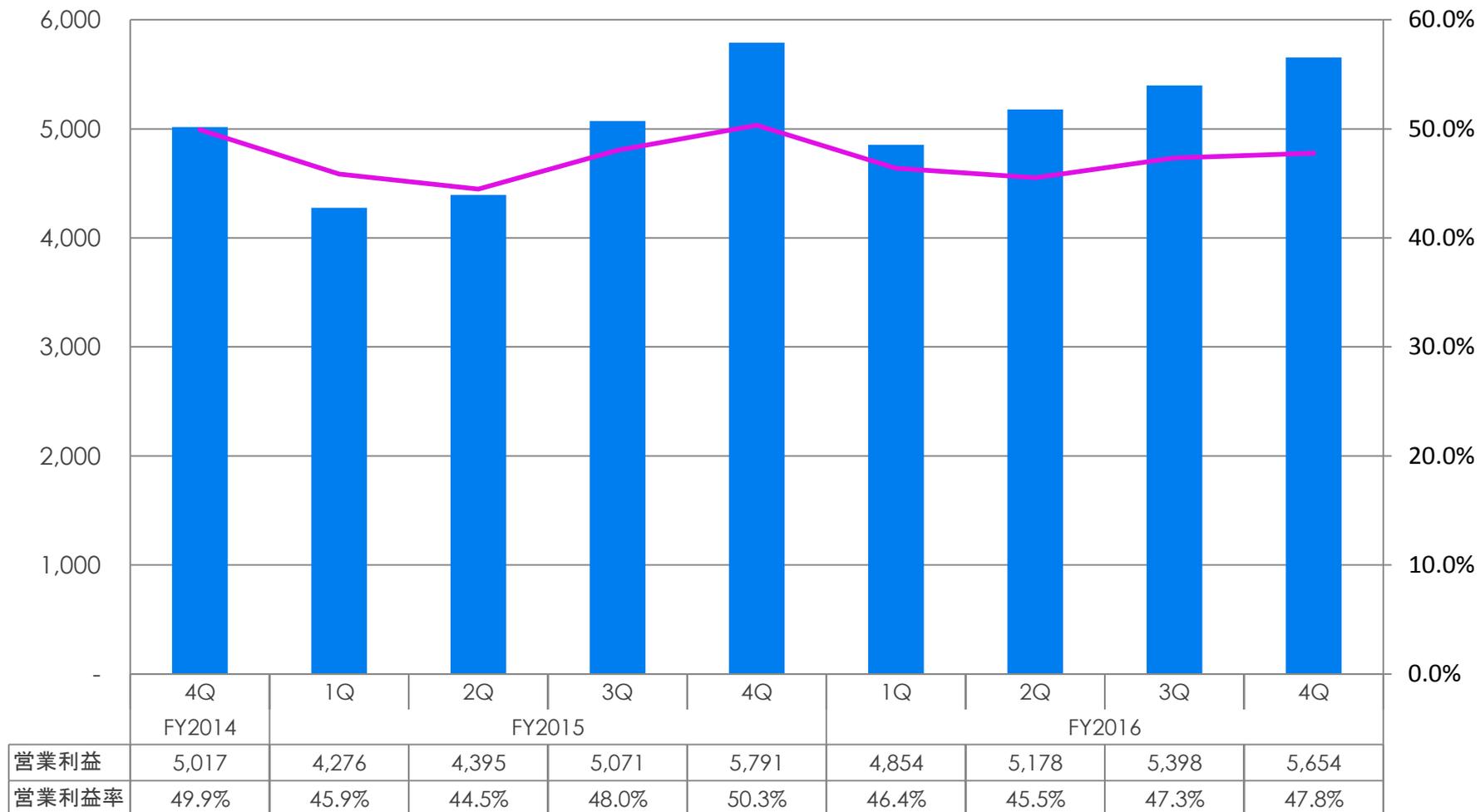
# 年度別 業務別売上構成の推移(連結)



※ セグメント間の内部売上高及び振替高を消去後の金額

# 四半期別 営業利益の推移(連結)

単位：百万円、%



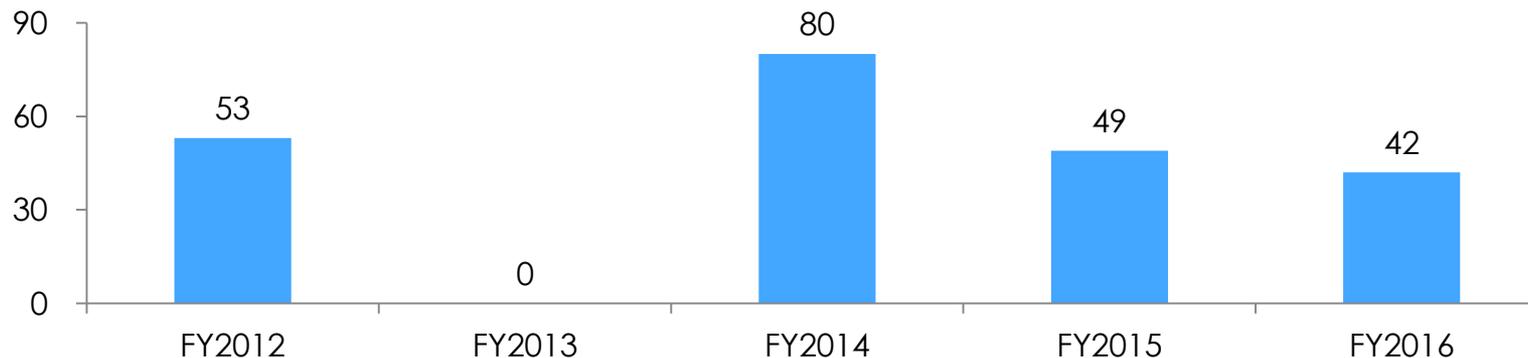
※2015年3月期1QよりTabelog Inc. 及び(株)タイムデザインを連結範囲に含んでおります。

※2016年3月期1Qより(株)webCGを連結範囲に含んでおります。

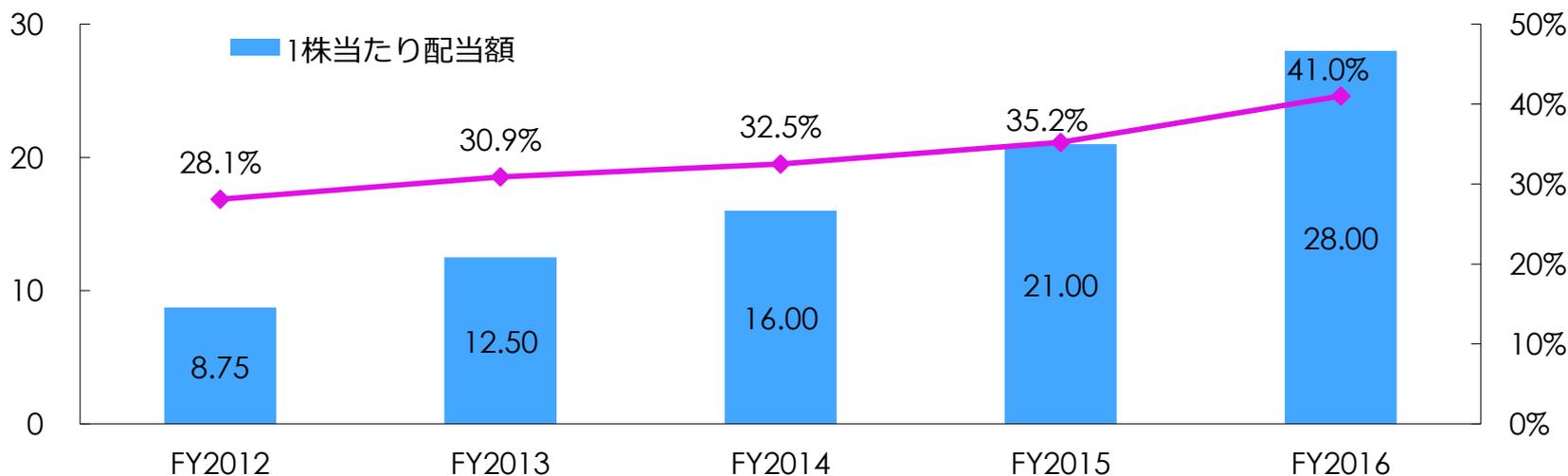
# 株主還元

## 自己株式取得

(単位：億円)



## 1株当たり配当額



※ 2013年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行い、2013年9月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行いました。FY2013の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり配当額を算定しております。

# カカクコムグループ運営サービス紹介

<p>◆購買支援サイト「価格.com」</p> 	<p>◆ランキングとクチコミのグルメサイト「食べログ」</p> 	<p>◆ホテル・旅館の直前割引サイト「yoyaQ.com」</p> 
<p>◆写真共有サイト「PHOTOHITO」</p> 	<p>◆旅行のクチコミと比較サイト「フォトラベル」</p> 	<p>◆総合映画情報サイト「映画.com」</p> 
<p>◆不動産住宅情報サイト「スマイティ」</p> 	<p>◆保険選びのコンサルティングサービス (連結子会社 ㈱カカクコムインシュアランスが運営)</p> 	<p>◆料理サポートアプリ「レシぼん」</p> 
<p>◆アジア向け購買支援サイト「Priceprice.com」</p> 	<p>◆ダイナミックパッケージ予約システム (連結子会社 ㈱タイムデザインが運営)</p> 	<p>◆女性向けライフスタイルメディア「キナリノ」</p> 
<p>◆自動車情報サイト「webCG」 (連結子会社 ㈱WebCGが運営)</p> 	<p>◆求人情報検索サイト「求人ボックス」</p> 	<p>◆おでかけ・グルメ情報マガジン「icotto」</p> 
<p>◆FX関連情報と為替相場解説・予想サイト「FX羅針盤」</p> 	<p>◆アキバ系カルチャーの情報&amp;コミュニティサイト「アキバ総研」</p> 	<p>◆30~40代男性向けファッションWebマガジン「+CLAP Men」</p> 

# 会社概要

- 会社名 株式会社カカクコム
- 英文社名 Kakaku.com, Inc.
- 所在地 〒150-0022  
東京都渋谷区恵比寿南三丁目5番7号  
デジタルゲートビル
- 設立 1997年12月(平成9年12月)
- URL <http://corporate.kakaku.com/>
- 上場取引所 東京証券取引所 市場第一部
- 証券コード 2371
- 関係会社 株式会社カカクコム・インシュアランス URL: <http://hoken.kakaku.com/insurance/company.html>  
フォートラベル株式会社 URL: <http://4travel.jp/>  
株式会社エイガ・ドット・コム URL: <http://eiga.com/>  
株式会社タイムデザイン URL: <http://www.timedesign.co.jp/>  
Tabélog, Inc. URL: <http://www.tabelog.us/>  
株式会社webCG URL: <http://www.webcg.net/>

本資料に記載された情報や将来の見通しは、資料作成現時点において入手可能な情報及び不確定要素に関するの仮定を前提とした当社の判断が含まれております。今後、様々な要因により実際の業績や結果とは異なる可能性があります。